

1か月の水道料金

口径13~30mm(家庭向け)の案A 現行料金体系を維持

資料4

平成32年度までに経営改善対策が進展しなかった場合の料金体系のグラフ

- ◆ 財政収支計画で平成32年度において、1m³当たりの赤字額が10円(水道75,000千円 - 3,770千円 + 簡水10,246千円) / 1.1 / (7,608,830m³ + 141,312m³)と予測しているため、経営改善対策が進展しなかった場合は、家庭向けの水道料金体系を平均的に1か月分で10円/m³ × 21m³ = 210円の値上げをしなければ収支が均衡しないと考えられる。
- ◆ 案Aは、現行料金体系を維持し経費削減のみで収支均衡を目指す。

現行料金体系のグラフ

税抜供給単価
151.61円/m³

170円/m³

140円/m³

口径13~30mmの
平均税抜料金
3,075円/月

口径13~30mmの
平均使用水量
21.27m³/月

差額
210円

差額100
~200円
程度

基本料金

50 1か月の水量 (m³)
40
30
20 21
10

1か月の水道料金

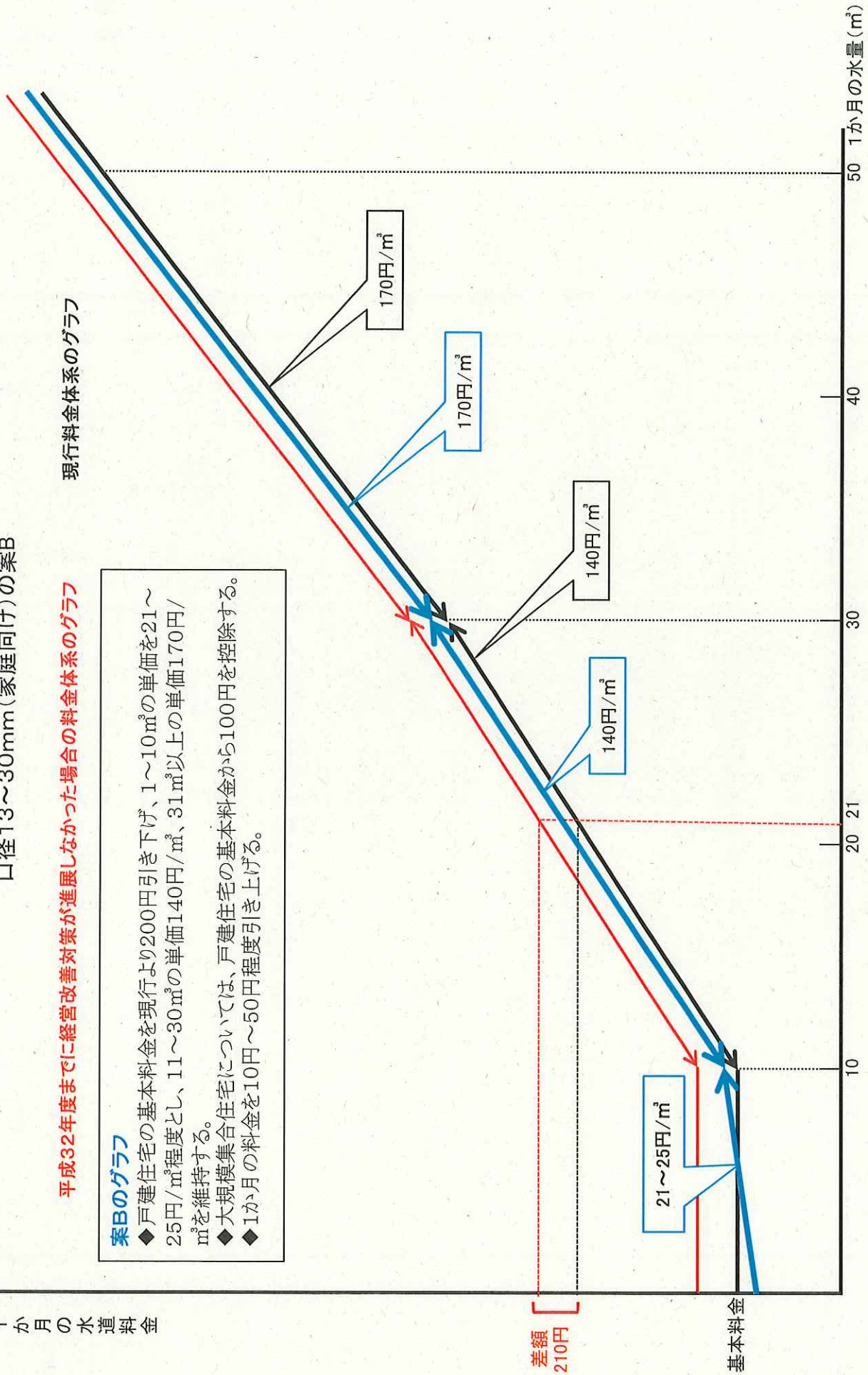
口径13~30mm(家庭向け)の案B

平成32年度までに経営改善対策が進展しなかった場合の料金体系のグラフ

現行料金体系のグラフ

案Bのグラフ

- ◆戸建住宅の基本料金を現行より200円引き下げ、1~10㎡の単価を21~25円/㎡程度とし、11~30㎡の単価140円/㎡、31㎡以上の単価170円/㎡を維持する。
- ◆大規模集合住宅については、戸建住宅の基本料金から100円を控除する。
- ◆1か月の料金を10円~50円程度引き上げる。



1か月の水道料金

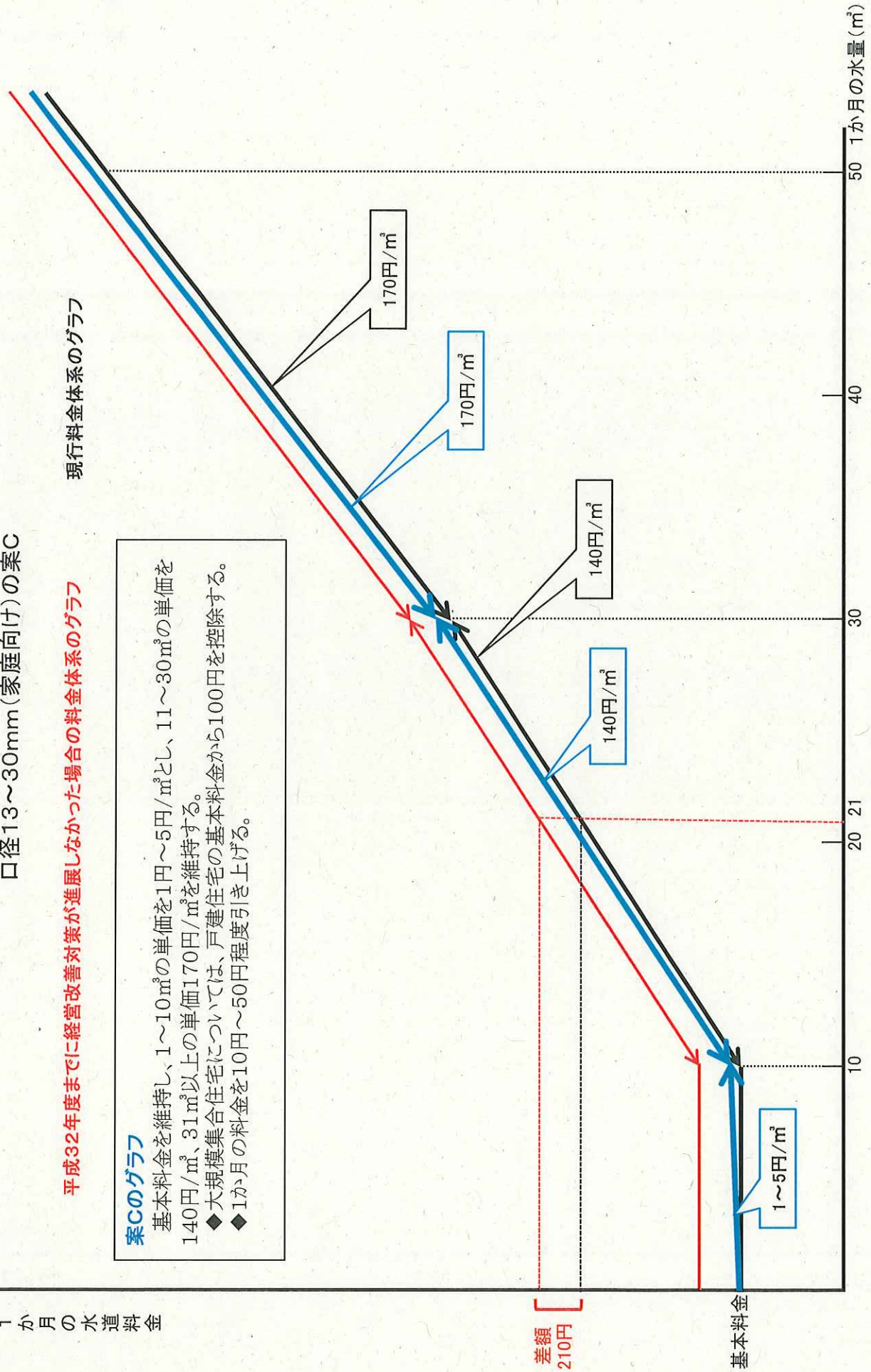
口径13~30mm(家庭向け)の案C

平成32年度までに経営改善対策が進展しなかった場合の料金体系のグラフ

現行料金体系のグラフ

案Cのグラフ

- 基本料金を維持し、1~10^mの単価を1円~5円/^mとし、11~30^mの単価を140円/^m、31^m以上の単価170円/^mを維持する。
- ◆大規模集合住宅については、戸建住宅の基本料金から100円を控除する。
- ◆1か月の料金を10円~50円程度引き上げる。



差額
210円

基本料金

1~5円/^m

140円/^m

140円/^m

170円/^m

170円/^m

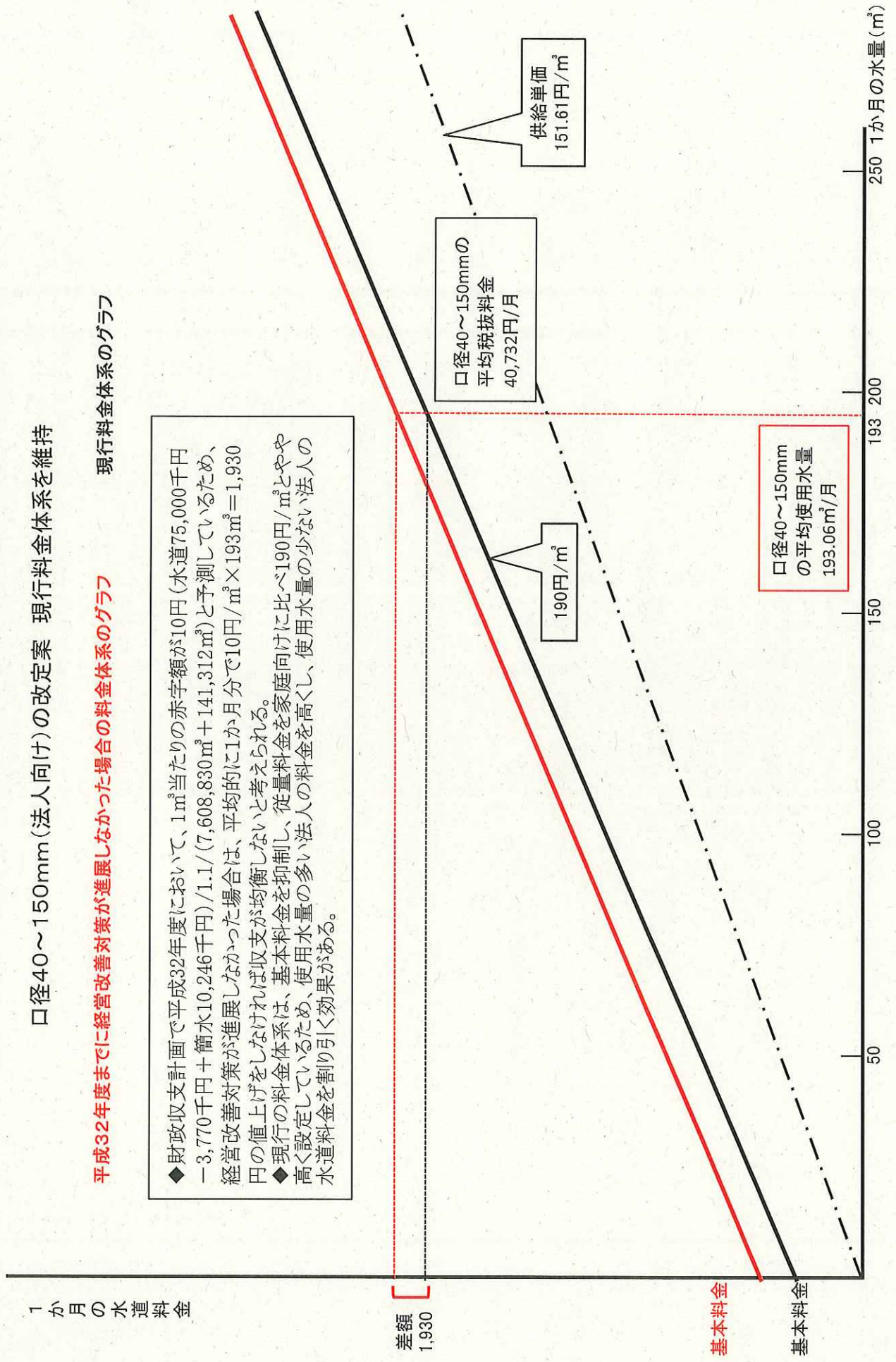
10 20 30 40 50 1か月の水量 (m³)

口径40～150mm(法人向け)の改定案 現行料金体系を維持

現行料金体系のグラフ

平成32年度までに経営改善対策が進展しなかった場合の料金体系のグラフ

◆財政収支計画で平成32年度において、1m³当たりの赤字額が10円(水道75,000千円 - 3,770千円 + 簡水10,246千円) / 1.1 / (7,608,830m³ + 141,312m³)と予測しているため、経営改善対策が進展しなかった場合は、平均的に1か月分で10円/m³ × 193m³ = 1,930円の値上げをしなければ収支が均衡しないと考えられる。
 ◆現行の料金体系は、基本料金を抑制し、従量料金を家庭向けに比べ190円/m³とやや高く設定しているため、使用水量の多い法人の料金を高くし、使用水量の少ない法人の水道料金を割り引く効果がある。



1か月の水道料金

差額
1,930

基本料金

基本料金